



望洋台小だより



<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子 ○思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子 ○明るく健康な子 ○協力し働く子

学校 HP

R7. 12. 22 No.8

(通算 587 号)

今年一年の感謝を込めて・・・

校長 脇本 麻友美

今週で2学期が終わり、23日間の冬休みに入ります。太陽の光が降り注ぐ暑さの中始まった2学期でしたが、季節は移り変わり学校の周りの木々やグラウンドもすっかり雪に覆われました。私などは「暑すぎず寒すぎず、ちょうど良い季候が良いな・・・」などと、都合の良いことを考えてしまうこともあります。季節の変化と共に私たちの生活にメリハリを与えてくれる日本の四季は、やはり素晴らしいと感じます。

さて、何かと慌ただしい年末年始ですが、この時期は一年を振り返るとともに、新しい年に向けて心を整える大切な時期です。そして、日本の伝統に触れる機会が多い季節でもあります。冬至（今年は、本日12月22日です）やお正月の準備など、昔から続く習慣には、家族の健康や幸せを願う気持ちが込められています。たとえば、冬至にゆず湯に入る風習は、体を温めて風邪を防ぐための知恵ですし、お正月に門松やしめ縄を飾るのは、新しい年の神様を迎えるための準備です。こうした行事を通して、自然や人とのつながりを大切にする心を育てていきたいですね。また、年末年始は、離れて暮らしているご家族が帰省されるなどして、家族で過ごす時間が増えるのではないのでしょうか。忙しい毎日の中で、家族そろって食卓を囲み会話を楽しむ時間は、子ども達にとって何よりの心の栄養になります。今年一年の頑張りを認めて、「よく頑張ったね」「来年も楽しみだね」と声をかけてあげてください。その言葉が、子ども達の自信とやる気につながります。また、大掃除やお正月の準備など、家族で協力して取り組むことも、子ども達にとって大切な学びの場です。役割を分担しながら、感謝の気持ちをもって行動することで、家庭の絆がさらに深まることと思います。



まもなく2025年に終わりを告げ、巳から午へリレーされます。最後になりますが、今年一年、望洋台小学校の教育活動推進に対しまして、保護者・地域及び関係機関の皆様方のご理解・ご協力を賜りましたことに、職員一同、心より感謝を申し上げます。とりわけ、保護者の皆様におかれましては、ヒグマ目撃に対する子ども達の送り迎えなどの急な対応にも、たくさんのご理解とご協力をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。寒さが厳しくなるこの時期、健康管理にも気を配りながら、元気に新しい年を迎えられるよう願っています。どうぞ、皆様にとって年末年始が穏やかで、ご家族の笑顔に包まれる心温まる時間となりますように、そして、来年も子どもたちが健やかに成長し、学びを楽しむ一年になりますよう、心から祈っております。令和8年も、どうぞよろしくお願い致します。



望洋台地区 CS 望洋台中学校防災訓練

12月6日（土）、望洋台地区CSと望洋台中学校で防災訓練が行われました。避難所となる中学校内の非常食やAEDなどの保管場所を確認した後、小樽市総務課より「自助・共助・公助」や「小樽の災害の特徴」について講話があり、「災害時は自分の身は自分で守る精神が大切」と説明されました。続いて、防災運動会では中学生と地域の方々が「バケツリレーゲーム」や「車いすリレー」に挑戦し、楽しみながら防災を学びました。地域と学校が協力し、災害への備えを考える貴重な機会となりました。



人権教室

11月28日（金）、本校の3・4年生を対象に「人権教室」が行われました。当日は人権擁護委員の方3名をお迎えし、人権の大切さについて分かりやすく説明していただきました。紙芝居を用いたお話では、身近な場面を通して「相手を思いやること」「誰もが尊重されること」の重要性を学びました。

子どもたちは真剣な表情で話を聞き、質問にも積極的に答えていました。今回の学習を通して、人権を守ることが自分たちの生活に深く関わっていることを理解し、これからの学校生活に生かしていくことを期待しています。



望洋台中学校体験入学

ヒグマ出没に伴う、登下校への配慮から、延期になっていた6年生の中学校体験入学を12月3日（水）実施しました。

今年度は望洋台小学校の体育館で行い、望洋台中学校から校長先生を含む3名の先生方にお越しいただきました。

「中学校生活の説明」「体育の体験授業」「部活動の紹介」などを通して、児童は中学校生活への理解を深めました。説明を受けた6年生からは「もうすぐ小学校を卒業し、中学生になるんだ」という意識が高まった様子が見られ、大変有意義な時間となりました。



1・2年生 生活科学習交流

12月10日（水）1年生と2年生が生活科の学習交流を行いました。2年生は、ピンゴやボウリングなどの遊びを工夫して作り、1年生に楽しんでもらう活動をしました。2年生は、自分たちが考えた遊びを分かりやすく説明したり、1年生と一緒に遊ぶ中で、互いの気持ちがつながるよさに気づいたりする姿が見られました。1年生は、2年生が準備してくれた遊びに夢中になり、「楽しい!」「もう一回やりたい!」と笑顔いっぱい活動していました。この交流を通して、1年生も2年生も、相手思いやる気持ちや協力する楽しさを感じることができました。とても温かい時間になりました。



教職員による体罰や児童生徒への不適切な行為に関する調査のお願い

北海道教育委員会・小樽市教育委員会からのお知らせです。お子さんに「教職員による体罰や児童生徒への不適切な行為に関する調査のお願い」の調査用紙を配付（テトルでのみ配信済）しています。できる限り、URL 又はQRコードからアクセスし、回答ください。回答期間は令和7年12月18日（木）～令和8年1月16日（金）です。どうぞよろしくお願いいたします。

アンケート調査結果から

11月に、いじめ把握のためのアンケート調査を実施しました。今回「いじめられた」の認知は26件でした。各担任は、アンケート結果を基に、子どもたちから詳しく話を聞き、必要に応じて当該児童と話し合ったり、保護者の方へ連絡したりしております。いじめられる側が「つらい」「嫌だ」と感じていたら、それは「いじめ」と定義されます。このことを前提として学校では、いじめに関わるさまざまな問題に対応、未然防止に努めています。アンケート結果以外でも、お子さんが何か嫌な思いをしていたり、悩んでいた時はすぐに連絡をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。小樽市教育委員会や北海道教育委員会にも相談窓口がありますので、ご紹介致します。

- ・スクールカウンセラーによる教育相談
Tel24-4314
(月・木曜日 10:30~16:30)
- ・小樽市教育研究所
Tel22-4812
(教育全般にかかわる心配事) (月~金曜日 8:50~17:20)
- ・小樽市教育支援センター登校支援室
Tel32-4111 内線 7530
(不登校に関すること) (月~金曜日 8:50~17:20)
- ・北海道中央児童相談所
Tel011-631-0301
(月~金曜日 8:45~17:30)
- ・子ども相談支援センター
Tel0120-3882-56
(毎日24時間)